

はじめての

パラスポーツ観戦

かんせん

Rowing
ボート

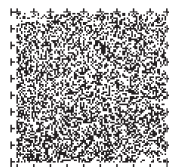


©皆川亮二



みんなで観に行こう、
パラスポーツ。

おうえん かんせん たの
応援のコツがわかると、観戦はもっと楽しくなる!



全長2kmのコースで繰り広げられる8艇の駆け引き。 息をもつかせぬラストスパートから目が離せない！

01

競技概要

唯一「前向き」で競技をしないボートは、自分の足元を常に見つめゴールに向かいます。風を切って水面を進み、みんなの力を合わせゴールに辿り着く一体感が快感です。



02

ルール説明

基本的には健常者とルールは同じです。競技は水上を浮き(ブイ)で仕切った直線2000mの8コースで行われ、スタートの合図で同時に漕ぎはじめ、艇の先端がゴールを通過した順に順位が決まります。



スカル:
一人両舷2本オールを用いる
膝の曲げ伸ばしができない下肢障がい選手のために、シートが固定式になっている
●スカルで使われるオール
片側2.90m/1.3kg程度/カーボンファイバー製



混合舵手つきフォア:
一人片舷1本オールを用いる
●スウィープで使われるオール
3.8m/2.5kg程度/カーボンファイバー製

03

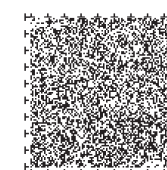
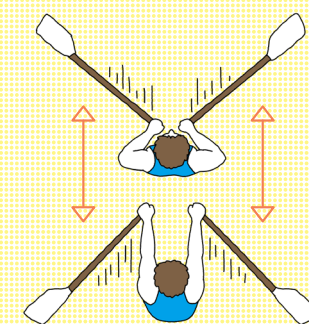
見どころ&応援方法

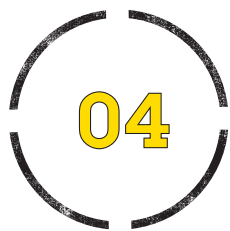
2km先のゴールラインをどの艇が一番早くに通過するか?という陸上の短距離走にも似たシンプルな競技のため、初めての観戦でも盛り上がるすることができます。さらにクラスごとの見どころを覚えておくのも観戦が楽しくなるポイントです。PR1は歩行ができない選手が腕の力だけで漕ぎ続ける自分との戦い。PR2は体格や力の差のある男女が息を合わせてオールを漕ぐコンビネーション。そしてPR3は健常者、男女、そして視覚障がいのある方など、様々な個性が集まってゴールを目指すチームプレー。一見、全力で漕いでいるだけに感じるレースの裏側にはたくさんの人間ドラマが詰まっています。会場に駆けつけて、大きな声でエールを送りましょう。

ボート観戦が
もっとおもしろく
なるコラム

COLUMN

この競技を観戦するうえで必須アイテムとなるのが、双眼鏡！選手たちの表情もさることながら、漕ぎ方の違いや変化にも気づくはず。たとえば、両手に持つオールが同じタイミングで動いているかどうか注目して見てみてください。2kmという長距離をぶれることなく同じタイミングで左右のオールを動かすことは見た目以上に至難の業。トップ選手ほど疲労が蓄積される終盤でも、まるで機械のようにきれいに動かし、トップスピードを維持しています。オールの動きがバラバラになったり、あるいはバランスが崩れて左右につけられたポンツーン(浮き)が水面につくと、かなりのロスが生じ、勝敗にも大きく影響を及ぼします。ぜひ、選手たちが日ごろのトレーニングで磨いてきた狂いのない美しいオールさばきに注目してください！よりレースが楽しめるはずです！





クラス分け

パラリンピックでは、^{したい ふじゆう}肢体不自由と^{しかくしょう}視覚障がいのある選手が対象で、^{せんしゅ}障がいの種類や^{ていど}程度で3つのクラスに分けられます。^{きょうぎ}競技は4種目あり、^{ひとり}1人または、^{だんじょ こんごう}男女混合で^{きょうぎてい こ}競技艇を漕ぎます。選手の障がいのクラスによって、^{きょうぎしゅもく}競技種目が異なります。

クラス	種目	対象障がい
PR1	^{だんし} 男子シングルスカル	^{ほこう} 歩行ができない。車いすの選手
	^{じょし} 女子シングルスカル	
PR2	^{こんごう} 混合ダブルスカル ^{だんし} (男子1:女子1)	^{か し せつだん} 下肢切断、 ^{のうげんせい ま ひ} 脳原性麻痺の選手
PR3	^{こんごう だしゅ} 混合舵手つきフォア ^{だんし} (男子2:女子2+舵とり)	^{じょうげし} 上下肢、 ^{のうげんせい ま ひ} 脳原性麻痺、 ^{しかく} 視覚(全盲含む)の選手

公益社団法人 日本ボート協会
<http://jara.or.jp>



TEAM BEYONDについて

パラスポーツ(障がい者スポーツ全体を指して使用しています)を応援する人を増やすため、東京都が2016年から展開しているプロジェクトです。スポーツをする人も、観る人も、支える人も、あらゆるメンバーがひとつのチームとなってパラスポーツを盛り上げていきます。



みんなで観に行こう、
パラスポーツ。

サイトへのアクセスはこちらから

www.para-sports.tokyo/



SNSも
こうしんちゅう
更新中!



@parasports.tokyo



@tokyoparasports



@tokyoparasports



TOKYO
METROPOLITAN
GOVERNMENT